



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



2023年2月9日

上場会社名 ぴあ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4337 URL <https://corporate.pia.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢内 廣
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役コーポレート担当 (氏名) 吉澤 保幸 TEL 03-5774-5278
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	23,991	13.4	452	—	329	—	940	—
2022年3月期第3四半期	21,157	—	△856	—	△844	—	△836	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 945百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 △842百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	61.65	—
2022年3月期第3四半期	△55.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	73,012	3,806	5.2	249.49
2022年3月期	64,598	2,807	4.3	184.10

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,806百万円 2022年3月期 2,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2023年3月期の配当予想につきましては、現時点で未定としています。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	35.5	800	—	600	—	1,300	—	85.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、決算短信（添付資料）7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	15,346,513株	2022年3月期	15,346,513株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	87,118株	2022年3月期	96,430株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	15,256,940株	2022年3月期3Q	15,091,584株

（注）株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託（BBT）が保有する当社株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）2ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の下振れによるリスクや、物価上昇、金融資本市場の変動等が国内景気に及ぼすリスクには注視すべきものの、新型コロナウイルス感染症対策や各種政策の効果により、景気は緩やかに持ち直しております。特に当社が事業基盤とする集客エンタテインメント市場は、集客制限の緩和に伴い、ライブ・イベント開催の動きが活発化しており、明らかに復調に転じています。また2022年11月には、当社創業50周年を記念し、株主の皆様やお取引先様約8千名を無料にてご招待し、これまでのご支援への感謝の想いをお伝えする特別イベントを、当社所有の「ぴあアリーナMM」で開催いたしました。

こうした状況下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、これまで抑制されてきたエンタメ活動への反動消費もあり、音楽公演の全国ツアーや大規模フェス、プロスポーツの国際大会等の大型案件が続々と開催されました。市場の回復に加え、獲得案件数の増加、公演ごとの単価が上昇したことにより、第2四半期に続いてチケット販売が好調に推移し、売上高は対前年同四半期比113%となりました。一方、創業50周年を記念した、全国各地の様々なジャンルの主催イベントの開催費用等を計上したこともあり、利益ベースでは第3四半期連結会計期間単独としては僅かな伸長となりましたが、通期では、2022年11月10日に公表済みの見込み通りに推移しています。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高239億91百万円(前年同四半期比113.4%)、営業利益4億52百万円(前年同四半期は営業損失8億56百万円)、経常利益3億29百万円(前年同四半期は経常損失8億44百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益9億40百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失8億36百万円)となりました。

売上に貢献した主なイベントや商品は次のとおりであります。

<イベント>

「プロ野球公式戦」「サッカーJリーグ」
 「Mr.Children」「リポビタンDチャレンジカップ2022」
 「LADY GAGA」「Maroon5」
 「Bruno Mars」「RED HOT CHILI PEPPERS」
 「ONE OK ROCK」「Perfume」「UVERworld」
 「SEKAI NO OWARI」「松任谷由実」
 「J01」「NCT DREAM」
 「INI」「2022 MAMA AWARDS」
 「ROCK IN JAPAN FES2022」「WILD BUNCH FEST. 2022」
 「劇団☆新感線」
 「Fantasy on Ice 2022」「浅田真央アイスショー」

<商品>

「ジェイソン流お金の増やし方」
 「羽生結弦語録Ⅱ」

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、730億12百万円となり、前連結会計年度末と比較して84億13百万円増加いたしました。流動資産は500億79百万円(前連結会計年度末比72億27百万円増)となりました。変動の主なものは、現金及び預金の減少(同14億41百万円)、売掛金の増加(同67億85百万円)であります。また、固定資産は229億32百万円(前連結会計年度末比11億86百万円増)となりました。変動の主なものは、ソフトウェアの取得によるものです。

負債は、692億5百万円となり、前連結会計年度末と比較して74億14百万円増加いたしました。流動負債は471億29百万円(前連結会計年度末比83億96百万円増)となりました。変動の主なものは、買掛金の増加(同98億33百万円)、短期借入金の減少(同25億円)であります。固定負債は220億76百万円(前連結会計年度末比9億82百万円減)となりました。変動の主なものは、長期借入金の減少(同9億86百万円)であります。

純資産は、38億6百万円となり、前連結会計年度末と比較して9億99百万円増加いたしました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が9億40百万円増加したこと等により増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、前回公表の予想数値に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,361	22,920
売掛金	15,716	22,501
商品及び製品	67	57
仕掛品	4	3
原材料及び貯蔵品	7	6
未収還付法人税等	—	37
その他	2,744	4,622
貸倒引当金	△49	△71
流動資産合計	42,852	50,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,811	11,763
工具、器具及び備品（純額）	423	372
土地	6	724
その他（純額）	18	13
有形固定資産合計	12,258	12,874
無形固定資産		
ソフトウェア	2,505	2,166
ソフトウェア仮勘定	2,955	3,705
その他	77	77
無形固定資産合計	5,537	5,950
投資その他の資産		
投資有価証券	975	1,291
その他	3,410	3,177
貸倒引当金	△435	△360
投資その他の資産合計	3,949	4,108
固定資産合計	21,746	22,932
資産合計	64,598	73,012

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,749	38,583
短期借入金	2,500	—
1年内返済予定の長期借入金	1,315	1,315
未払金	2,178	2,085
未払法人税等	244	42
賞与引当金	70	2
新型コロナウイルス関連損失引当金	22	6
その他	3,652	5,093
流動負債合計	38,732	47,129
固定負債		
長期借入金	21,225	20,238
株式給付引当金	179	127
退職給付に係る負債	98	102
資産除去債務	1,211	1,279
その他	343	328
固定負債合計	23,058	22,076
負債合計	61,791	69,205
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,942	5,942
資本剰余金	2,105	2,108
利益剰余金	△4,999	△4,058
自己株式	△216	△166
株主資本合計	2,831	3,825
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11	8
為替換算調整勘定	△40	△31
退職給付に係る調整累計額	5	4
その他の包括利益累計額合計	△23	△18
純資産合計	2,807	3,806
負債純資産合計	64,598	73,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	21,157	23,991
売上原価	15,330	15,517
売上総利益	5,827	8,473
販売費及び一般管理費	6,684	8,021
営業利益又は営業損失(△)	△856	452
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	8	8
諸債務整理益	—	39
助成金収入	409	89
その他	9	5
営業外収益合計	428	142
営業外費用		
支払利息	275	184
持分法による投資損失	114	37
その他	26	43
営業外費用合計	416	265
経常利益又は経常損失(△)	△844	329
特別利益		
関係会社株式売却益	—	678
特別利益合計	—	678
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△844	1,008
法人税等	△5	68
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△839	940
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△836	940

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△839	940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	△3
退職給付に係る調整額	2	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	5	8
その他の包括利益合計	△2	5
四半期包括利益	△842	945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△839	945
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社を除き、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年12月31日）
当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。

- II 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）
当社グループは単一の報告セグメントであるため、記載を省略しております。